

# 第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和4年度

施策コード	814	施策	ICTの利活用
管理事業	情報システム運用事業	所管部局	行政経営部

1	所管室課	情報政策室	事業名	情報システム運用事業	
事業概要 小型システム運用、庁内データ総合共有活用システム整備、情報通信基盤、共通基盤システム、空調機管理					
活動実績					
【AI-OCR導入による拡充】 【テレワークシステム導入による拡充】 【職員向け情報共有ツール追加導入及びヘルプデスク業務による拡充】 【電子申込システムへのキャッシュレス決済導入による拡充】 【行政手続の申請情報管理システム導入による拡充】 【ローコードツール試験導入による拡充】  (1) 内部事務系システム稼働率(1年-1年の停止時間/1年の稼働予定時間) (令和4年度評価より計画的なシステム停止時間は稼働予定時間から除く) 令和2年度…99.88% 令和3年度…99.79% 令和4年度…99.83%  (2) 住民情報系システム稼働率(1年-1年の停止時間/1年の稼働予定時間) (令和4年度評価より計画的なシステム停止時間は稼働予定時間から除く) 令和2年度…100.00% 令和3年度…100.00% 令和4年度…100.00%	年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容  拡充 引き続きICTを活用した業務改善に取り組む。
	決算額(千円) 783,327 763,746 855,314 一般財源の比率(%) 93.6 91.9 92.9 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ICTを活用した業務改善を進める一方、運用保守委託料やシステム改修、機器の費用の増大が持続可能性の面で課題となっている。今後も市民にとって安心・便利なデジタル行政サービスの実現及びICTを活用した業務プロセスの改善に積極的に取り組むとともに、コスト削減や運用負荷の軽減にも併せて取り組んでいく必要がある。また、様々な働き方に対応するためのシステム導入に対し、十分なセキュリティ対策を併せて取り組む。				

2	所管室課	情報政策室	事業名	情報化推進事業	
事業概要 地域情報化、情報化推進体制整備					
活動実績					
【行政手続の電子化に関するコンサルティング支援業務による拡充】 【共通基盤システム標準化対応支援業務による拡充】  (1) 行政手続電子化件数 令和3年度…168件 令和4年度…562件  (2) 施設予約システムの導入済施設数 令和3年度…28施設 令和4年度…32施設  (3) 行政手続の電子化に関するコンサルティング支援業務の実施 「吹田市行政手続の電子化方針」のもと、行政手続の電子化に向けて課題解決の提案等、豊富なノウハウをもつ事業者からの支援を拡充した。  (4) 共通基盤システム標準化対応支援業務の実施 「自治体情報システム標準化・共通化」を達成するための支援を拡充した。	年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容  拡充 システム標準化を始めとした自治体DXの実現に向け取組を更に強化推進していく
	決算額(千円) 30,585 32,183 62,225 一般財源の比率(%) 100.0 80.0 78.4 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 外部環境や最新技術等の急速な変化に対応しながら、情報セキュリティを十分確保しつつ、多様化する市民ニーズに答えるための自治体DXを推進していくことである。対応状況の具体例として、施設予約システムキャッシュレス対応の拡充、行政手続の電子化促進、「自治体情報システムの標準化・共通化」を着実に実現していくために、実施体制や支援を強化する。				

	所管室課		事業名		
事業概要					
活動実績					
	年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容
	決算額(千円)				
	一般財源の比率(%)				
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題					

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名